

科目	単位	時間	履修学年	講師名
文化人類学	1	30	1	
ねらい	<p>私たちは、文化というレンズを通して物を見ています。この授業では、自分たちがどんなレンズを身に着けているのかに気づき、異文化に寛容になることを目指します。外国人との接触が増える今後の社会で、多様な物の見方があることを知り、異文化間の橋渡しができる看護者になることを目指します。</p>			
回数	授業内容			授業方法
1回目	食文化に見られる文化の多様性、文化人類学的思考とは 奈良における食文化の特徴			講義
2回目	文化相対主義とエスノセントリズム、普遍的な価値			講義
3回目	グローバル化、多文化主義と同化主義			講義
4回目	婚姻・家族の多様性			講義
5回目	近代家族の形成と変容			講義
6回目	近代家族と生殖技術をめぐる現代の課題			講義
7回目	身体観（痛み）と文化			講義
8回目	健康と病気（病因論、治療法、治療者の多様性）			講義
9回目	医療体系の多元性、出産を事例に			講義
10回目	看護と人類学、ケアと多文化理解の重要性			講義
11回目	現代社会における医療化とそのメリット・デメリット			講義
12回目	分類と境界のもつ意味			講義
13回目	通過儀礼の3つの側面、二項対立			講義
14回目	ジェンダー（社会・文化的な性）の視点で文化を見る			講義
14.5回目（45分）	リプロダクティブ・ヘルス/ライツと女性の健康			講義
15回目（45分）	終講試験			試験
教科書	系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間]・100点) 講師：30分 70点 講師：15分 30点			
備考				